

背景

- 高校が取り組んでいる「地域探究の時間」の推進と、主権者教育の一環として高校生に町政・町議会への関心を高めてもらうことを目的に開始。

事業の概要 〈開始年度：H26年度～〉

- 高校生が4月から取り組んでいる「地域探究」のまとめとして地域課題等に関する一般質問の通告書を作成。（11月中旬）
 - ・提出された通告書に対し、議員がアドバイスをを行いながら正式な通告書を仕上げていく。
- 12月定例会を傍聴
- 高校生と担当議員の事前打ち合わせ（高校生議会の1週間前）
 - ・高校生のグループごとに担当の議員を決め、質問に対するアドバイスや議場でのリハーサルを行う。
- 高校生議会（1月中旬）
 - ・質問者は高校生15名（高校生議長含む）程度、答弁者は町長、副町長、教育長等
 - ・インターネット中継（当日ライブ）、ケーブルテレビ録画後日放送を行う。
 - ・議会終了後に議員との交流会を行い、感想や反省を話し合う。
- 高校生の提案に対して、その後の対応状況を町執行部が書面で回答（2月中旬）

[▼壇上での一般質問の様子]



[▼事前打ち合わせの様子]



工夫・注意点

- 町長等からの答弁を想定し、再質問ができるようアドバイスをしている。
- 高校生の質問・提案については、その後の対応状況を書面で回答している。
- 町議会議員との対面交流の回数を増やしたいが、高校生議会の開催時期を考えると難しい。

事業の効果

- 高校生から「議会に興味はなかったが、自分たちの思いが地域に広がることは地域の活性化になると思った」などの感想もあり、取り組みの成果が感じられる。
- 町立図書館の空きスペースを活用したギャラリーの設置等、高校生の提案の中には実際に事業化されたものもあり、こうした実績の積み重ねが高校生議会の継続につながっている。